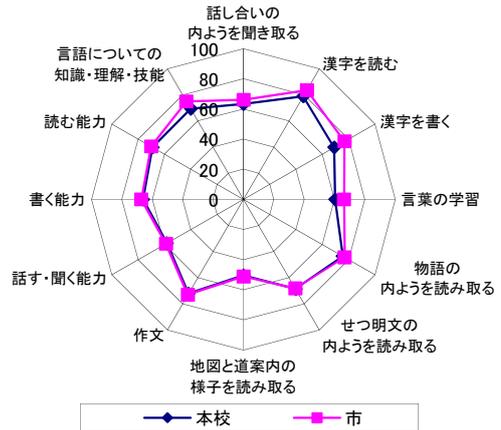


# 宇都宮市立岡本小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

	本年度		
	本校	市	
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	63.3	66.1
	漢字を読む	79.0	83.5
	漢字を書く	69.0	76.9
	言葉の学習	60.5	66.2
	物語の内ようを読み取る	75.5	77.0
	せつ明文の内ようを読み取る	68.7	68.3
	地図と道案内の様子を読み取る	50.5	51.2
	作文	72.3	73.1
観点別	話す・聞く能力	58.3	58.9
	書く能力	66.1	67.2
	読む能力	69.1	70.2
	言語についての知識・理解・技能	69.4	75.1



## ★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・宇都宮市の平均正答率よりもやや低い。話の中心に気をつけて聞くことや話し方の工夫に気をつけて聞くことはできるが、話し手の考え方の共通点を聞き取る力が、市の平均よりも大きく下回っている。	・学習活動全体において、聞く態度の更なる育成を図り、話の内容や要点に注意しながら聞き取る力を高めていく。また、2つ以上の話を、観点を示して聞かせることにより、その共通点や相違点を聞き取る力を養っていく。
漢字	・宇都宮市の平均正答率を下回っている。特に第3学年配当漢字を書く問題の正答率が、市の平均よりも約8%下回っている。	・引き続き、授業や朝の学習、家庭学習において、現学年の漢字の読み書きを練習させるとともに、前学年の配当漢字も計画的に練習させ、漢字を読んだり書いたりする力の定着を図る。
言葉の学習	・宇都宮市の平均正答率を下回っている。修飾語や漢字のいろいろな読み方、故事成語などの正答率がやや低いが、特に漢字辞典の使い方についての理解が不十分である。	・修飾語などの文法や漢字のいろいろな読み方に関しては、折に触れ復習できるように、国語の授業において繰り返し指導する。故事成語については、日常の会話の中で教師が意識して使ったり、取り上げて意味を調べさせる活動を取り入れたりする。また、国語辞典や漢字辞典を身近に置き、必要に応じてすぐに調べる習慣付けをしていく。
物語の内ようを読み取る	・宇都宮市の平均正答率をやや下回っている。登場人物の様子を読み取ることはおおむねできるが、登場人物の気持ちを読み取る際に、叙述から離れて自分の思いこみで解答している傾向が見られる。	・登場人物の気持ちを読み取る際には、必ずその根拠となる行動や言葉などの叙述を明らかにさせる。
せつ明文の内ようを読み取る	・宇都宮市の平均正答率よりもやや高い。段落の要点に注意して読み取ったり、細かい点を正確に読み取ったりする力は身に付きつつある。しかし、文章の内容を全体的にとらえる力が不十分である。	・段落ごとの主文を元に要点をまとめたり、文末表現から事実と意見とを見分けて段落相互の関係をとらえたりする練習を繰り返し、力のいっそうの定着を図る。また、序論・本論・結論の文章構成に着目させ、内容や要旨をとらえさせることで、説明的文章を読み取る力を高める。
地図と道案内の様子を読み取る	・宇都宮市の平均正答率をやや下回っている。地図を読み取って適切な言葉遣いで話すことについては、市の平均を上回っているが、他の道順と比較してよりよいものをと考える力が不十分である。	・国語だけでなく、他教科・領域においても、図表やグラフなどを読み取って言葉で表現する活動を多く取り入れる。また、自分の考えと友達のを比べたり、友達同士の考えを比べたりといった活動を意識して行わせる。
作文	・宇都宮市の平均正答率をやや下回っている。指定された段落構成で文章を書いたり、書こうとすることの中心を明確にして書いたりする力は定着しつつある。しかし、指定された長さで文章を書いたり、理由を挙げて書いたりする力はやや不十分である。	・文章を書くときの基本的な約束を確認し、身に付けさせる。また、与えられた条件の中で文章を書く練習を重ねたり、自分の意見やその理由を分かりやすく伝えるための表現方法を指導したりして、書く力の定着を図る。